

★ まちづくり ★ ニュース



ホームページ

<http://www.geocities.co.jp/HeartLand-Icho/3732/>

203号

2018年8月18日



常盤台の景観を守る会
常盤台まちづくり委員会

事務局 島田晴子 tel・fax 3960 - 3869

— 都心低空飛行問題について —

○ ゴーアラウンドの数

着陸の際、何かの事情で着陸態勢に入っても、途中で中止し、やり直しをするケースをゴーアラウンドと言います。

東京連絡会の F さんの観察によれば、羽田空港の7月中のゴーアラウンドの数は55件(内訳は、A滑走路が9件、Bが28件、Cが12件、Dが6件)。Bが多いのは、7月に南風運用が多かったことだと思われ、午後3時から午後7時の時間帯でみると、南風運用が83%でした。昨年8月から今年7月の一年間でみると、518件(Aが220、Bが170、Cが86、Dが42)だったということです。1日に1件以上起きているのです。やり直しとなった機は、特に指定された航路を取るのでも無く、都内を勝手に飛び回って再着陸を目指すのです。とんでもない方向に飛んでいる飛行機がありますが、このゴーアラウンドなのでしょう。

○ 景観市民ネットのEF公開研究会

7月28日(土)調布市の国領市民プラザ「あくろす」で幾つかの自治体の職員や議員も参加して「エコロジカル・フットプリント」についての講演・勉強会がありました。

講師として和田喜彦さん・伊波克典さん・清野比咲子さん・泉 浩二さんが招かれ、それぞれのEFとの出会いなどについて語ってくれました。理念は理解できたとしても、具体的な実施となると、前途遼遠の感がありました。

地球1個分の許容範囲の中で生活するべき、という考え方は、この地球の昨今の変化を見ても、生物が生き続けるために絶対不可欠なものではないかと思えます。多くの人に関心を持って欲しい理念です。

○ 常盤台駅リニューアル

駅舎の東側の壁面が、今はよく見えています。駅ビルが立ち上がると、見えなくなってしまるのが残念です。

「マンスリーと〜ぶ」8月号に1ページ取り上げていますが東武は宣伝上手とは言えないようです。南宇都宮駅との関連も、格好の話題提供になるはずですが・・・

○ 駅舎改修についての茶話会

東武鉄道の方をお招きして茶話会の中で苦労話をお聞きしたいと企画中ですが、日にちについて調整中です。詳細はまた後日。

○ 野良猫が増加中

野良猫が一時激減(噂ではネコ狩りがあった?)し、その結果ネズミの被害が増え、中には、自分の家では飼えないが、隣家にネコを飼ってくれないかと頼んだ人もいたとか。

最近はまだ、野良猫が跋扈するようになり、猫たちに給餌する人もいるようです。

その食べ残しの不始末や、糞害に悩まされているYさんは、区役所や保健所に相談したところ、置き餌は「不法投棄」にあたるので、見かけたら、110番に連絡するか、ときわ台交番に連絡を、また野良猫は色々なバイキンを持っているので、糞尿はもちろん猫にも触らないようにと板橋警察署生活安全課の担当者から助言を受けたそうです。

春には子猫が3匹生まれ、このままだと、常盤台は野良猫だらけになる怖れがあります。「猫の去勢」をするべきなのですが、ボランティアで野良猫去勢対策をしてくださる方々はいらっしやらないでしょうか、とYさんは訴えています。

酷暑の中の東京オリンピック

ゴミ問題

地球温暖化の影響か、ここ数年日本も異常気象に見舞われています。七・八月の酷暑・大雨といった現象は、年々ひどくそのなれ、元に戻ることはないでしょう。

二〇二〇年の東京オリンピックがこの時期に開かれるという愚策はなんとか方向修正出来ないのでしょうか。

首都圏では熱中症で三千人以上が救急車で搬送されています。湿度の高い日本の暑さに慣れない外国人はバタバタ倒れる心配があります。死者さえ出ているではありませんか。

ある調査では、開催で当てにされているボランティアに、参加する意思のある人は一五%しかないという結果。一方でオリンピック自体に関心のある人は七・八割だといふから一見矛盾していますが、中高年層は自分が熱中症で倒れて足手まといになるのを恐れて、意欲があったとしても、ともボランティア参加は無理だから、自宅でテレビを見るしかないのが真相です。

夏時間の導入や開始時間の繰り上げ、ミスト設備や街路樹の植え替えなどと小手先の対応では、恐らく焼け石に水。観光客に死者が出ないことを祈るのみです。

韓国では一般家庭の電気代を、クーラーが節約せずに使えるよう、安くするそうです。日本も見習ってもよいのではないのでしょうか。それにしても電気の消費量は増大しているはずですが、原発が無くても済ませられるようです。

以前、クルドサックが常時ゴミ置き場となっている問題を取り上げたことがありましたが、まだ景観についての意識が薄かったせいもあり、未だに解決しないで置かれています。

ゴミは2、3軒と6、7軒のグループで場所を決めて、出す日も決まっています。資源ゴミも数カ所に箱やネットを用意します。そういう所では話合いで片付けの当番を決めていると思います。

時々、その場所以外の通りすがりの人が、大量に捨てていたりすると、腹立たしい気持ちになります。勤めや何かの事情があつて当番の責任が果たせない人も現実には存在し、その人達も困っているのです。そう言う場合は区に申請して、戸別収集してもらおうのが一番良い解決法ではないかと思えます。

育メンパパ

ある若い夫婦と知り合いました。男の子はまだ三歳の可愛い盛りです。驚いたのは四〇歳ぐらいのお父さんが、ごくごく自然にその子の面倒を見ていることでした。食事の際は傍に座らせ、前掛けをさせて上手に食べさせるし、いつも穏やかに見守っています。もちろんお母さんの方もやさしくて、男の子は落ち着いて機嫌良くしています。子どもは周囲の大人たちの愛情を受けて育ち、かけがえのない思い出を身につけるのです。

今までの日本の男性は、育児などもつてのほか、母親の仕事、と決めつけていたのですが、やっと最近家事も分担するようになったようです。このカッパルの子育てを見て、何ともほほえましく思いました。

常盤台公園のはなづくり

ヒマワリがやっと伸びてきました。種をまくのが遅かったので、蕾はまだ見えません。矮性のと二m近くの高さになると、色々撒いてみました。来年はもっと早くから苗を育てるつもり。これも雑草が気になります。雑草取りは蚊との戦いでもあり、この酷暑の中で、ややあきらめムードです。

今年の雑草は長く手を伸ばして次々と侵略していくのと、直ぐに麦の穂のような、いわゆる猫じゃらしを付けて増えていくのと、この二つが隆盛でした。

夏はまた水やりが難題です。公園の巻いてあるホースの先を、嚴重にポリエチレンの袋で縛っているのは、ナメクジが入り込んで、詰まってしまうからだそうです。想像しただけでゾッとしました。

そろそろトシの私たちには今の花壇の広さは再考の余地あります。

中央図書館の跡地がどうなるか不明ですが、公園もその時に改修となるでしょう。その際はもっと計画された、手入れの楽な美しい公園になってほしいものです。

常盤台産のマーマレード(一瓶五百円)をお求め下さる方は「ギャラリー服部」の受付か、ニュース編集部にご連絡下さい。図書館前のチューリップの球根代や花の補充費になりますので、よろしくお買い上げを！